

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保護者全15世帯		
調査方法	園児の保護者にアンケートを保育園より配布いただき、保育園から直接評価機関へ返信いただきました。		
	利用者総数	15	
	利用者家族総数（世帯）	15	
	共通評価項目による調査対象者数	15	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	15	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	100.0％	

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な満足度は、全回答者15名のうち「大変満足」と回答した方が4名、「満足」と回答した方が10名、「不満」と回答した方が1名でした。不満と回答した方も1名いますが、回答者ほぼ全員が、「大変満足」または「満足」と回答しており、満足度は非常に高いです。子どもが楽しそうに通っているという意見が多くあり、こういったことが満足度の高さにつながっているものと思われます。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	15	0	0	0
回答者15名全員が「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っている」と回答しています				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	15	0	0	0
回答者15名全員が「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっている」と回答しています。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	14	1	0	0
回答者15名のうち「提供される食事は、子どもの状況に配慮されている」と回答した方が14名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	1	0	0
回答者15名のうち「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっている」と回答した方が14名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	3	0	2
回答者15名のうち「保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されている」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が3名、「非該当」と回答した方が2名でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	13	1	0	1
回答者15名のうち「安全対策が十分とられている」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	5	0	1
回答者15名のうち「行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が5名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	13	2	0	0
回答者15名のうち「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係がある」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	13	1	0	1
回答者15名のうち「施設内の清掃、整理整頓は行き届いている」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	0	1	0
回答者15名のうち「職員の接遇・態度は適切」と回答した方が14名、「いいえ」と回答した方が1名でした。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	2	0	0
回答者15名のうち「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できる」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	9	3	0	3
回答者15名のうち「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できる」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が3名、「非該当」と回答した方が3名でした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	1	0	0
回答者15名のうち「子どもの気持ちを尊重した対応がされている」と回答した方が14名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	13	1	0	1
回答者15名のうち「子どもと保護者のプライバシーは守られている」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	15	0	0	0
回答者15名全員が「保育内容に関する職員の説明はわかりやすい」と回答しています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	11	3	0	1
回答者15名のうち「不満や要望は対応されている」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が3名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	7	2	0	6
回答者15名のうち「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられている」と回答した方が7名、「どちらともいえない」と回答した方が2名、「非該当」と回答した方が6名でした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ 1（1－1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している （ ） 評点		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている （ ） 評点		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している （ ） 評点		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

園で生じた課題や重要な案件は、毎週開催する園長会議を通じて、法人への報告・連絡・相談を実施しています。園長会議には、理事長や理事が出席し、経営的な判断や重要な意思決定が即時に行われることから、機動力の高い組織運営が行われています。また、職員には園長会議で決まった内容は即時に落とし込みを行い、詳細はリーダー会議や職員会議などを通じて周知しています。保護者への重要案件の説明は、保護者会を開催し周知が行われるほか、保護者配信アプリやメールなどを活用しています。

2	カテゴリー 2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー 1 (2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している			評点 ()
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当

サブカテゴリー 2 (2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している （ ）		評点	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる （ ）		評点	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリー 2 の講評		カテゴリー 2 の講評を入力してください	
●必要な情報が適切に収集されており、園の運営に生かされています 利用者の意向は年に2回開催する保護者会や個人面談等を通じて、利用者の率直な意見をうかがっています。職員の意向は、毎月開催している職員会議やクラス担任会議を通じて確認が行われるほか、年に2回実施する職員面談からニーズの把握や課題の抽出が行われ、園長会議を通じて事業運営に反映されています。また、小規模連絡会や日本保育協会のほか、東京都、足立区からの行政文書を通じて地域福祉の現状や福祉事業の動向について必要な情報を収集しています。 ●中・長期計画はSWOT分析を活用し、単年度計画との連動性が確認できます 法人や園では中長期計画の策定に当たり、現状を分析する手段としてSWOT分析が活用され、具体的な方針や業務の分析が行われています。また、単年度の事業計画には具体的な中長期計画のビジョンが描かれており、これを実現するための単年度計画が策定されています。このことから、中長期計画と単年度計画がしっかりと連動したものとなっています。また、単年度計画では全体的な保育計画、年間保育指導計画、年間行事予定、職員計画、研修計画、感染症対策、給食・保健計画、安全対策等を定め、計画が具体的で実行可能なものとなっています。 ●柔軟な機動力が生かされ目標達成に向け取り組んでいることがうかがえます 法人では週に一度園長会議を開催し、計画に対する進捗状況の確認や課題に対する対策の検討が行われています。園長会には理事長や理事など法人の経営層が出席することから、計画の修正や見直しを適宜実施することが可能となっています。また、PDCAサイクルを活用し、経営と運営が一体となり機能していることがうかがえます。さらに園長会議で決定された内容は即座に全園で水平展開され、園側でも申し送りや職員会議等を通じて、速やかに情報が伝達されるなど、柔軟な機動力が生かされ目標達成に向け取り組んでいます。			

3	カテゴリー 3		
	経営における社会的責任		
	サブカテゴリー 1 (3-1)		
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点 ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
	サブカテゴリー 2 (3-2)		
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
	評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点 ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
	●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
	サブカテゴリー 3 (3-3)		
	地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 ()			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当	

評価項目 2		評点
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている ()		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評 カテゴリー 3 の講評を入力してください		
●研修や運営マニュアル等により職員として遵守すべきことが周知されています 園では、法人の理念に掲げている「保育を必要とする乳児及び園児を日々受け入れ、乳幼児の最善の利益を追求し、保障する」とあるように、すべての子ども達の人権を尊重し、自立した誇りある人としての基礎づくりを行うために「守るべき法・規範・倫理」・「利用者の権利擁護」・「虐待防止」について規定し、職員研修を通じて職員への理解が深まるよう育成に取り組んでいます。具体的には、就業規則、服務規定、運営マニュアル等を活用し、人権研修が実施されているほか、職員会議の中でも理解が深まる取り組みが行われています。 ●虐待防止や権利を擁護する仕組みが構築されています 園では、入園説明において重要事項説明書（入園のしおり）を基に、「相談・意見・要望・苦情」について園の相談・苦情窓口や外部の相談先など、苦情解決制度について保護者に説明を行っています。また、園では虐待防止法を遵守し、子どもの人権の擁護と虐待防止に取り組んでおり、子どもに対する虐待事案の早期発見及び防止のために定期的な職員研修が実施されているほか、園全体において虐待や権利擁護など子どもの権利が尊重されているかを自己評価する仕組みが構築されています。 ●近隣保育園との交流や情報交換が行われています 園の活動の様子は、ホームページやブログ、掲示板などを活用し公開されています。また、コロナ禍において実習生やボランティアに対しての問い合わせがない状況が続いていますが、小規模保育園の良さを知ってもらうため問い合わせがあればいつでも受け入れができるよう体制を整えています。地域との交流活動として近隣保育園の校庭開放を活用し園児同士の交流を深めたり、地域の連携園と「園だより」や「保健だより」の交換を行うなど交流を図っています。近隣公園散歩時には、家庭内保育の母子とごっこ遊びをするなど広く交流が行われています。		

4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当	
サブカテゴリー 2 (4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 ()			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	

カテゴリ4の講評		カテゴリ4の講評を入力してください	
●マニュアルやチェックリストを活用した安全対策が図られています 園では、園外保育や散歩が安全に実施されるよう散歩マニュアルが作成され、「散歩時の安全管理チェック表」を用いて安全性の確認が行われています。このチェック表では毎月「マニュアル」、「持ち物」、「目的地」、「安全確認」、「緊急時対応」についてのチェックが行われ、見直しが必要な場合には職員間で協議がされ、情報の共有化が図られています。また、これとは別に「園外保育チェック表」が作成され、毎月職員ごとに理解度の確認をし、リスク管理の徹底が図られています。 ●リスク管理が行われており、事業継続計画の整備が進められています 園では、非常災害対策計画や災害時マニュアルを策定し、地震・水害・火災等に対する対応が行われています。中でも足立区では荒川の氾濫による水害が想定されることから水害に対する避難訓練が定期的に実施されています。また、保護者には入園説明において重要事項説明書（入園のしおり）に基づいて、非常災害時の対策・防犯対策・緊急時の対応方法を説明しています。しかし、災害に対する事業継続計画と感染症に対する事業継続計画が未整備のため、現在整備が進められています。 ●個人情報の適切な管理と情報管理の仕組みが構築されています 園では、ICT化の推進に積極的に取り組んでおり、園児管理システムを導入しています。園児の情報はID番号と紐づけられおり園内での活動が個別に記録され、その情報がリアルタイムに共有されています。また、保護者との連絡は保護者配信アプリを活用し、保護者との連携を強化しています。各PCやタブレット端末、保育関連のシステム・アプリケーションにはIDやパスワードを設定し、データはクラウド方式を採用し安全性が担保されています。さらに園内の個人情報はすべて鍵付きの書庫で保管し園外持ち出しを禁止しています。			
5	カテゴリ5		
職員と組織の能力向上			
サブカテゴリ1（5-1）			
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	
評価項目1			
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている ()			評点
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当	
評価項目2			
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している ()			評点
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当	

評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる ()		評点
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる ()		評点
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ 2（5－2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる ()		評点
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

	カテゴリー 5 の講評	カテゴリー 5 の講評を入力してください
	●園に適した人材の確保が行われ、人材育成に力を入れています 園では、人材確保はハローワークの就職フェスや人材紹介会社などを活用し、努めています。人員配置や異動については、職員面談を通じて本人の希望や意向を確認し、法人と協議のうえ適切な人員配置を行っています。また、研修計画に基づき内部研修と外部研修が行われており、内部研修では、職員間のコミュニケーションを活発化し知識・情報を共有化することを目的に月別のテーマが決められており、職員は自分の希望にあった研修を自主的に受講することができます。一方、外部研修では、キャリアアップに応じた研修に参加することができます。 ●キャリアパスや職員研修の充実を図り、ワーク・ライフ・バランスの推進しています 法人では、「職務資格等級フレーム」により、階層や年齢に応じたキャリアパスが定められています。研修体系においても「階層別に求められる専門性」に配慮した研修体制が構築されており、キャリアパスと研修計画が連動した運用が行われています。また、園では職員の意欲向上への取り組みとして、ワーク・ライフ・バランスの推進を行っており、「足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業分野別マスター認定」を受けています。さらにソエルクラブ（社会福祉法人福利厚生センター）への入会を行うなど、職員が意欲と働きがいの向上に取り組んでいます ●チームとしてサービスの質の向上や課題解決が行える環境と仕組みを有しています 園では、職員一人ひとりが学んだ研修報告を職員会議や回覧により共有し、知識の向上が図られています。サービスの質の向上や業務改善は、職員会議やクラス担任会議で話し合わせ、園長会議に報告され改善が図られています。課題解決に向け「施設の自己評価」と「職員の教育・保育の自己評価」が行われ、問題点の洗い出しと課題の抽出が行われ、PDCAサイクルが回されています。また、園では職員の誕生会や土曜日にケーキを食べる会などを実施し、職員同士のコミュニケーションの向上が図られています。	
7	カテゴリー 7	
	事業所の重要課題に対する組織的な活動	
	サブカテゴリー 1（7-1）	
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
	評価項目 1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1） 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ） 前年度の重要課題として、 「小規模保育園の良いところを知ってもらい定員割れしないよう工夫して行く」ことが掲げられています。 理由として、 今後益々少子化が進み保育業界全体がシュリンクしていくことが予想されます。このことから、地域で選ばれる保育園を目指し、 小規模保育園の良いところを知ってもらう工夫が必要となります。 具体的な取り組みとして ①保育園の活動の様子をホームページやブログに上げ子ども達の活動内容や様子を公開しています。 ②園見学を随時受付け、子ども達の活動の様子や保育の状況を実際に見て感じてもらう対応を行なっています。 ③利用者のニーズを捉えるため、保護者会、アンケート、個人面談を実施し、利用者の声を大切にした取り組みを行っています。	

目標の設定と 取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評 上記の取り組みの結果、4 月当初は各クラスにおいて定員割れが生じていたが、園の活動を繰り返し丁寧にブログ等を通じて周知してきたことにより、現在は欠員が 1 名までに縮減することができています。また、毎月一回赤ちゃん体操教室を開くなど新たな取り組みも提案されています。大規模保育園ではなく、小規模保育園だからできるきめ細やかな丁寧な保育を実施し、利用者のニーズを的確に捉えた選ばれる保育園を目指し、地域にとってかけがいのない保育園へと成長されることを期待します。	
評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その 2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ） 前年度の重要課題として、 「子どもの健やかな成長を願い、一人ひとりの健康状態を把握し、子どもが楽しかった・嬉しかったと思えるような環境を工夫しながら保育する」ことが掲げられています。 理由として、 小規模保育園ならではの家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの子どもを大切に育てる保育を心がけ、「輝く瞳」・「溢れる笑顔」を引き出し、 子ども達がたくましく生き抜く力を育むためにも認知能力だけではなく非認知能力をしっかりと育てていくことが必要となります。 具体的な取り組みとして ①（0 歳児）感覚機能を刺激し、生活全体のバランスを高め、安定を図る。 ②（1 歳児）情緒の安定を図り、社会的行動の始まりを大切に見守っていく。 ③（2 歳児）個々の子どもの気持ちを大切にしながら、生活習慣の自立を助け、また、保育者や友だちとの関係を広げつつ、運動機能や言語活動の芽生えを助ける。	
目標の設定と 取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

上記の取り組みの結果、

①（0 歳児）

誕生から急激に発達を遂げる子ども達の個々の成長に合わせ、保育園が安心して過ごすことのできる場所であると思ふことができ、

ゆったりとした環境の中でのびのびと生活をし、成長の喜びを感じることができている。

②（1 歳児）

手足の発達や言語の発達が著しく見られる中で、身近な環境に何でも興味を持ち、自分の思いと集団生活の一員としての自制心を

バランスよく共有することができている。

③（2 歳児）

自分の思いをはっきりと伝えられ、大人だけではなく子ども同士でも言葉を介し、意志の疎通が図れており、年齢に見合った生活マナーを

習得し、ほぼ自立した対人関係が構築できはじめている。

以上のような効果が現れており、職員はひとつひとつの対応を丁寧に行い、状況に応じた瞬時の判断が行えるよう心がけています。

今後は一人ひとりの子どもを大切に育てる保育が実を結び、今まで以上に子ども達の「輝く瞳」・「溢れる笑顔」が見られる保育園と

なることを期待します。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している ()		評点
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		サブカテゴリー1の講評を入力してください
	●ホームページやブログなどで園の活動を広く伝えています 法人のホームページで、SAKURA保育園西新井の紹介がされています。基本情報や入園時に必要な書類や一日の流れ、年間行事などが掲載されています。さらに、園よりもホームページ上で見る事が可能となっており、園の活動がよく理解できます。さらに、重要事項説明書（入園のしおり）もアップされており、保育理念・保育方針・年齢ごとの保育目標がわかりやすいそして明確な言葉で示されています。入園のしおりは28項目にわたって情報提供をしており、初めて保育園を利用する方にとってほしい情報が網羅されています。 ●ブログは保護者のもとより利用希望者にも非常に好評を得ています 園ではほぼ毎月何らかの行事を催しており、ブログにもその状況がアップされています。クリスマス会ではサンタのかわいい衣装に扮してカードを作ったり、お正月明けには鏡開きと題して、おもちゃの鏡餅をピコピコハンマーで割る真似をしたり、節分では子どもたちが鬼を退治したりと、子どもたちの表情が生き生きと紹介されています。ブログは職員が作成をして、最終的に園長が確認をします。写真がたくさん掲載されているので、園の活動がよくわかり、保護者はもちろんのことこれから利用をしようとしている方からも非常に好評を得ているようです。 ●見学は個別対応としており、職員の笑顔や子どもたちの声を肌で感じてもらっています 見学は、利用希望者の日程に合わせて対応しています。コロナ禍ということもあり、個別での対応となり1日1組となっています。小規模のため家庭的な雰囲気があり、縦割り保育のメリットなどについて説明をしています。広い保育園ではないため入り口でも保育室をみることができ、職員が笑顔で子どもたちへ対応しているところや子どもたちの声を肌で感じてもらうことを大切にしています。		

2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている () 評点		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている () 評点		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 の講評			サブカテゴリー 2 の講評を入力してください
●見やすくわかりやすい重要事項説明書（入園のしおり）で園の方針を説明しています 毎年1月の終わりに内定者のお知らせがあります。内定が決まった時点で、保護者と園長、次年度からの担任が重要事項説明書（入園のしおり）について説明をして面接を行います。入園のしおりには園の保育理念・方針が明確に示されており、保育計画も年齢ごとに紹介しており、それぞれの目標に対してどのように取り組むかということも明記されています。また、年間行事や虐待防止への取り組み、給食について、緊急時の対応などについて説明がされます。 ●慣らし保育でじっくとかかわりを深めていきます 利用時には事前に児童票に子どもや保護者の情報を記入してもらいます。その情報は、園児管理システムに入力し、職員全員が閲覧することができます。職員はそれぞれのクラスを担当していますが、他クラスの子どものことも把握しており、それぞれの子どもに合わせた対応ができています。また、保育園に通う生活に慣れてもらうため、慣らし保育を実施しています。初日は、1時間程度、給食まで、午睡に入るまでと少しずつ保育園にいる時間を長くして、リズムをつけてもらいます。個々によりますが長いときは1か月間ほどじっくり時間をかけています ●卒園式を行って子どもたちの成長を保護者と共に祝いをしています 小規模保育園は、2歳児までの利用となっており、3歳児からはほとんどの子が認可保育園あるいは幼稚園に入園することになります。毎年夏ごろに区から送られてくる書類を渡し、先行申し込みの説明をしています。園では、卒園式を開催して子どもたちの新しい旅立ちを祝福しています。昨年のブログによると、何度も卒園式の練習をしました。当日は、一人ひとり卒業証書やお菓子をもらい誇らしげな表情で、参加していました。保護者も参加して一緒に子どもの成長を喜びました。			

3	サブカテゴリー 3		
	個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
	評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点 ()		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 ()			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリー 3 の講評		サブカテゴリー 3 の講評を入力してください		
●園長と職員が一体となり、年間計画を作成しています 保育の年間計画は園長と担任が話し合いながら、四半期ごとの保育計画を作成しています、また、週案は前の週の金曜日に散歩などに影響する翌週の天気などを加味しながら、0～2歳児の職員全員が話し合いをしながら作成しています。特別に支援が必要な子どもには個別の計画を作成しています。月に1度は個別計画と全体の計画のモニタリングを園長と担任が確認しながら、見直しをしています。それぞれの計画は、区のガイドラインに準拠したものとなっています。 ●計画に基づいた活動の評価や反省点を記録し、保育内容を振り返っています 園児管理システムの保育日誌に毎日の活動について入力をしています。日案に基づいた活動内容と配慮すべき点を入力して、6つの評価の視点を持って日案を振り返り、評価・反省すべき点を入力しています。毎日の評価や反省すべき点として振り返ることで、週案や月案の修正をこまめに行うことができるものと思われます。また、特別に配慮が必要な子どもは、専門機関の訪問があった際に子どもの状況を伝えるため、ケア記録の他に巡回相談発達記録に記入をして、連携を図っています。 ●園児管理システムで申し送り事項などを共有しています 保護者との連絡は、連絡アプリを使用して行われています。保護者は毎日子どもの家での様子をこの連絡アプリを使用して、就寝時間や朝食や夕飯のメニュー、検温、排泄、コメントなど園に伝えています。職員が集まって申し送りを行うことはなく、園児管理システムで確認することとしています。また、非常勤職員はライングループで情報を確認しています。申し送り事項は毎日確認することを徹底しており、さらに他のクラスも確認することを指示しています。				
5	サブカテゴリー 5			
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
	評価項目 1			
	子どものプライバシー保護を徹底している		評点	
	()			
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
	評価項目 2			
	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点	
()				
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当		
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当		
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当		

●契約時に個人情報保護方針や利用目的を説明し同意を得ています

好評を得ているブログにはたくさんの子どもの写真が掲載されています。契約時には、医療機関や関係機関への情報提供など必要に応じて個人情報の提供などについて説明をして、同意を得ています。また、ブログやパンフレットへの写真掲載についても顔写真や名前の掲載についての有無を確認し書類を交わしています。さらに、保護者が撮影した写真などをSNSに掲載しないことを誓約書を取り交わしています。同様に職員の退職後も守秘義務を守ることへの誓約書を得ており、個人情報の保持を徹底しています。

●子どもの羞恥心には最大限に配慮をして取り組んでいます

夏には、園のバルコニーでプール遊びが行われていますが、広い道路にも面しているため外部から見えないように遮断をしています。また、小さな子どもは裸になって動き回ることありますが、そういったことがないように子どもたちに伝えています。トイレも男女が一緒になっていますが、他の子が利用をしているときはきちんと外で待つように伝えています。子育てへの思いはそれぞれの保護者で異なります。利用時のアセスメントではどのような子育てをしたいかを聞き取り、各家庭の価値観を大切にしたい保育に取り組んでいます。

●入園のしおりにも虐待への対応を明確にし保護者に伝えています

入園のしおりには、虐待の防止について遵守すべきことと虐待があった場合の連携先のことについて、明確に示しています。職員は児童福祉法第33条の10により、身体的な苦痛を与えたり、人格を辱める等の行為はしません。として10項目にわたる禁止行為を示しています。また、子どもに虐待と思われる行為があった場合には区市町村や関係機関に通報することを明文化しています。研修に参加することで、さらなる意識づけを行い、保護者との連絡を密にすることで不適切な行為が起こることがないように取り組んでいます。

6

サブカテゴリー 6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
()

評点

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目 2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
()

評点

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

●園独自のマニュアルを作成し、現場に即した保育が展開されています

法人のマニュアル、足立区のガイドラインを踏襲してSAKURA保育園西新井の独自のマニュアルを作成しています。一日の業務から保護者への対応、子どもがケガをしたとき嘔吐をしたとき、保護者への対応など詳細に必要なと思われる事柄がすべて網羅されています。保育の基本動作や苦情への対応について事例などを取り上げながら丁寧に作成されたマニュアルということがわかります。ただし、文章が羅列されているため、図やフローで示すことでより一層わかりやすくなるのではないかと思います。

●トップダウンではないボトムアップの気運の高まりに取り組んでいます

マニュアルの最初のページには、「なぜマニュアルが必要なのか？」ということで、職員が気持ちを一つにして同じ方向に進んでいくため、と掲載されています。園長は、決め事がある場合には、必ず職員の声を聞き尊重しています。トップダウンではなくボトムアップの気運が高まることを期待して、いろいろな意見が職員からでることで一体的に保育園を運営していこうと取り組んでいます。保育の年間計画も担任、職員の意見を聞きながら作成していくなど、必ず意見をくみ取る仕組みができています。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

サブカテゴリー4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている () 評価 標準項目	●あり ○なし 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている ○非該当 ●あり ○なし 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している ○非該当 ●あり ○なし 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している ○非該当 ●あり ○なし 4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している ○非該当 ●あり ○なし 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつきの等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている ○非該当	
評価項目1の講評		評価項目1の講評を入力してください	
●毎月個人別の目標を設定し、発達に応じた保育を行っています 子どもたちの家庭環境や成長発達の記録など、全ての記録は法人全体として使用している園児管理システムに入力して管理しています。管理システム内の個人台帳やケア記録では、子どもたちの発達の状況なども定期的に確認できる仕組みになっています。毎月の保育計画は、4月であれば「新しい環境に慣れる」とか、「自分の好きな遊びを見つける」、夏ならば「水に慣れる」など、子どもたち一人ひとりの目標を明確にして、その子に合わせた対応を心掛けています。発達の個人差に配慮しながら、無理なく楽しく活動できるような計画作りをしています。 ●異年齢での関わり合いの中で、共に成長できるように援助しています 0歳から2歳まで、概ね17人の子どもたちが一緒に生活しています。保育室内は大きく3つのスペースに分けられて、食事や午睡等のリズムの違いから0歳児は1部屋を専用で使用しています。1歳児、2歳児は食事や遊び、午睡など、1日の時間の多くを一緒に過ごしています。0歳児クラスの子どもたちも、遊びの際などには職員が近くについて大きい子どもたちの中に入って一緒に遊ぶ姿もありました。このような日常的な異年齢での関わり合いの中で、自然な形で小さい子のお世話をしたり、大きい子の行動をまねるなど、共に育つかかわり合いが見られます。 職員が間に入って、相手の気持ちを一緒に考えられるような声掛けをしています 言葉によるコミュニケーションがまだ難しいこともあり、おもちゃの取り合いや噛みつきなどのトラブルは発達の過程として日常的に起こります。職員はその都度子どもたちの間に入り、ほしい時には「かしてねー」ということなどを伝えて、友達との言葉のやり取りを楽しめるようにしています。また噛みつきなどの際には相手の手を見せて、「いたいよねー」など、相手の気持ちを代弁して理解できるようにしています。このようなトラブルについては迎えの際に保護者にも伝えて、発達の過程であることやなぜ起こったかの理由なども共有しています。			

2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている ()		評点
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評 評価項目 2 の講評を入力してください			
●全職員が、出勤後すぐに家庭からの連絡事項を確認し、保育にあたっています 家庭での睡眠時間やミルク、食事の量や内容、体温や体調の変化など、日常的な家庭とのやり取りは、連絡帳アプリを活用しています。職員は出勤後すぐに施設内にある 4 台のパソコンやタブレットを活用し、連絡帳アプリやシステム内の連絡事項などを確認してから保育に入っています。送迎の際に保護者から伝えられた連絡事項などは、受けた職員が口頭で伝達しています。連絡帳アプリや口頭で伝えられた内容などは、担任が必要に応じてシステム内の個人台帳やケア記録、連絡事項などに記録して、全職員が共有できるようにしています。 ●個々の発達状況に合わせて、自分のことが自分でできるように援助しています 衣服の着脱や排せつ、食具の使い方などの生活習慣については、日々子どもたち一人ひとりの様子を見ながら個別の計画に基づいて実施しています。座ってズボンを脱ぐ練習やズボンをはく練習など、園で取り組み始めたことなども保護者に伝えて、家庭と連携して少しずつ進めています。自分が遊んだおもちゃなど、自分で使ったものは自分で片付けるなど、子どもたちの発達に合わせて、自分のことが自分でできるようになることを大切にしています。午睡は身体を休めるために横になりますが、眠くない子には無理に寝かさないうなど、個別に対応しています。 ●保護者から相談されたことについては、直接口頭で伝えられるよう努めています 園での子どもたちの活動の様子は、ブログに掲載して誰でも見られるようにしています。また園での一人ひとりの様子は、毎日 16 時をめに連絡帳アプリで配信するため、送迎の前には保護者が読めるようになっています。お迎えの際には担任が玄関まで子どもたちを連れていくため、保護者と直接話をすることができ、その日の様子も伝えています。連絡帳アプリや口頭などで保護者から相談を持ち掛けられた際には、できるだけ直接話をする形でアドバイスができるように努めています。担任が伝えにくい内容などについては、園長も玄関に出て伝えています。			

3	評価項目 3		評点
	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当	
評価項目 3 の講評		評価項目 3 の講評を入力してください	
●外部講師を招いての赤ちゃん体操など、日常の活動にメリハリをつける工夫をしています 0歳から2歳児クラスまでの小規模保育園ですが、毎日朝の会を行っています。朝の会では、絵本や手遊び、今月の歌などを全員で楽しみながら言葉の発達も促しています。今日は散歩に出かけるなど、これからの集団活動の内容を伝えて、子どもたちが期待感を持てるようにしています。また、年に3回外部講師を招いて、赤ちゃん体操を行っています。子どもたちの歩き方なども講師に見てもらったり、マッサージの仕方を職員が教わるなど、日常の保育にも活かせるアドバイスも受けています。赤ちゃんマッサージの方法は、保護者会でも伝えて共有しています。 ●子どものやりたいことを引き出して、自ら遊びを選べるようにしています 近隣には公園が多く、花や落ち葉、木の実を探したり、砂場でのお店屋さんごっこなど、季節感を味わいながら模倣遊びも楽しんでいます。夏はテラスで水遊びをしたり、オルガンに合わせたリトミックや体操など、様々な活動が行えるようにしています。朝や夕方の自由遊びの時間帯には、昨日の続きのおもちゃで遊びたいなど、子どもたちが言ったことができるようにしています。雨の日には、室内を身体を動かして遊ぶ部屋と机で遊ぶ部屋に分けて、好きなところに行って遊べる様にしています。机もパズルや粘土、塗り絵などと分け自分で遊びを選んでいきます。 ●擬音などを活用して具体的な行動を伝え、挨拶やルールが身につくようにしています 小さい子どもたちに生活上の決まり事やルールを教えるためには、日々繰り返し伝えることを大切にしています。外から帰ったら際にはうがいをすることや遊具を順番に使うこと、前の道路に飛び出さないことなど、細かなことをその都度伝えて身につくようにしています。朝の会での「おはよう」のあいさつや、食事の際の「いただきます」、お昼寝の時のやすみなさいなど、挨拶の言葉なども大事にしています。手と手をパチンとするなど、擬音を活用して、具体的な行動を乳児にもわかりやすく伝えることを実践しています。交通安全指導の実践で、表彰もされました。			

4	評価項目 4		評点
	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当	
評価項目 4 の講評 評価項目 4 の講評を入力してください			
●行事に向けた制作などを日常の保育に取り入れて、本番を楽しめるようにしています 夏祭りや親子ミニ遠足、毎月のお誕生会などの他に、節分やひな祭り、ハロウィン、クリスマス会、お正月のお祝い会など、季節の様々な行事を行っています。行事はその当日を楽しむだけではなく、普段の保育の延長との考えから、行事に向けた制作などを日常の保育に取り入れています。また、春には桜の花をモチーフにしたり、夏にはヨーヨーと浮き輪、秋にはどんぐりや松ぼっくり、12月にはクリスマスなど、毎月季節感が味わえるようなオーナメントを作成しています。子どもたち一人ひとりの写真を入れて室内に飾り、季節の行事を盛り上げています。 ●日々の遊びとして繰り返し行うことで、子どもたちが達成感を味わえるようにしています 行事の内容については、各クラスの子どもたちの成長、発達に合わせて、行事担当の職員が中心となり全職員で話し合いながら企画しています。季節の行事などについては前もって子どもたちに伝えて、その日を楽しみにできるような演出もしています。夏祭りで行ったボーリングなども、普段の遊びの中でも繰り返し取り入れて、最初はいまぐれできなくても、子どもたちが少しずつできるようになっていく過程を通して達成感が味わえるようにしています。子どもたちが興味を持てるような働きかけを工夫しつつ、やりたいという気持ちを優先しています。 ●衣装の準備などで保護者の協力を得ながら、行事を盛り上げる工夫をしています 子どもたちの行事に向けた活動や制作の様子などは、日々のブログや連絡帳アプリなどを活用して保護者にお知らせして、親子で一緒に期待感が持てるようにしています。また行事に合わせて家庭で準備が必要なものや詳細については、各行事専用のお知らせなどを作成して配布しています。ハロウィンの際などには、各家庭で衣装を用意してもらうなどの協力を得ています。手作りの衣装を用意するなど、保護者も毎年準備を楽しんでいる様子も見受けられます。クリスマス会でも「おしゃれOK」として、好きな衣装を着て登園して良い日としています。			
5	評価項目 5		評点
	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	

	評価項目 5 の講評		評価項目 5 の講評を入力してください	
	●出入口から見えにくい部屋で遊ぶなど、子どもが寂しくならない工夫をしています 本園は朝7時30分から夕方18時30分までの11時間開所をしています。育休中の方々は朝8時30分から夕方16時30分までの短時間保育となりますが、個別の事情に配慮して延長して預かりができるようにしています。16時30分を過ぎると順次お迎えの保護者がやってくることから、子どもたちは次は自分の番かと待ちわびるような素振りにもなってきます。特に今年度は早いお迎えの家庭が多いことから、お友達が帰った後に寂しさを感じないように、入口から一番奥の部屋でスキンシップを多めに取り、遊びに集中できるようにしています。 ●少人数の時に出来る特別なおもちゃなどを使用して、楽しく過ごせる工夫をしています おやつ後は、自由遊びの時間となります。子どもたちにどんな遊びをしたいかを聞いて、好きな遊びができるようにしています。まだ十分に言葉で意思を伝えられない子どもに対しても、戸棚を開けてどのおもちゃで遊びたいかを聞き、選べるようにしています。ミニカーや音の出るおもちゃなど、人数が少ない時に出来るおもちゃなども用意して、特別感が持てるようにしています。職員は各クラスの担当が決まっていますが、常に全員で全ての子どもたちを見るという体制が作られていて、子どもたちはどの保育士にも甘えることができ、安心して過ごしています。			
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している ()			評点
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当	
	評価項目 6 の講評		評価項目 6 の講評を入力してください	
	●行事食を工夫し、子どもたちが楽しく食べられる演出をしています 0歳児が食事の際に使用する椅子には、厚さを調整できる背もたれを使用して、食べやすい姿勢が保たれるような工夫をしています。中期と後期の離乳食を用意して、個別に食べられる体制を整えています。また1、2歳児は同じ部屋で、一緒に楽しく食事ができるようにしています。毎月お誕生日の子どもには、「おたんじょうびおめでとう」と書かれた特別なランチマットを使用したり、クリスマス会にはクリスマス用の紙コップやお皿を使用しケーキのおやつを用意して音楽も流すなど、季節の行事にちなんだ食の演出をして子どもたちを楽しませています。 ●アレルギーや体調不良の子どもたちに対して、安全な食の提供を心掛けています 食物アレルギーを持つ子どもに対しては、入園の際に提出していただく調査書や医師の管理指導表などに基づき、保護者と個別に面談を行いながら除去食などの提供を行っています。誤食が無いように、テーブルやトレイ、食器の色などを分けて、ダブルチェックの声掛けを行っています。また、便の様子や朝の保護者からの連絡などにより、体調が思わしくない場合になどは、牛乳やヨーグルトの提供を控えるなどの個別の対応をしています。コロナ禍では、感染症の予防などにも配慮して、子どもたちが対面にならないように座る工夫もしています。 ●夏野菜の栽培などを通して、食への興味を深める取り組みをしています 0歳、1歳、2歳児とそれぞれの年齢に応じた年間目標を明確にした「年間食育計画書」を作成しています。1年間を3期に分けた食習慣の育成に向けた取り組み内容や、毎月の食育活動も明記しています。子どもたちの食育活動の一環として、食材に触れたり、トウモロコシやそら豆の皮むき体験、プランターでミニトマトやパプリカなどの野菜の栽培を行っています。子どもたちが毎日水やりをして少しずつ成長する様子を楽しみながら、食材に興味を持てるようにしています。大規模園では概ね幼児クラスから行っている体験が2歳児クラスで行われています。			

7	評価項目 7		評点
	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当	
		評価項目 7 の講評	評価項目 7 の講評を入力してください
●絵本などを活用して、子どもたちへの健康指導も実践しています 日常の保育の中で、散歩から帰った際は手洗いをすることや、鼻水は手で拭わずに職員に知らせること、咳が出た際には手で口を押えることなど、健康的に生活するうえで大切にしたいことなどを繰り返し伝えています。また、2歳児を中心に「ぶくぶくペー」などの絵本の読み聞かせをしながら、実際にうがいの練習などもしています。トイレトレーニングの際などにも、絵本を活用しています。天気の良い日は毎日散歩に出かけて思い切り身体を動かす遊びを楽しんだり、徒歩で30分ほどの児童館に遊びに行くなどして、子どもたちの体力づくりもしています。 ●区が発行している感染症予防マニュアルなどに従い、適切な対策を行っています 保育所における感染症対策ガイドラインや、区の教育委員会が作成した感染症予防マニュアルなどに基づき、職員の毎日の健康チェックや定期的な換気、施設や備品等の消毒などの予防対策を実施しています。感染症対策の一環として、それぞれの病気の潜伏期間や症状などの一覧表も作成しています。感染性の胃腸炎など園内で感染症が発症した場合などには、掲示して一早く保護者にも知らせ、拡大の防止に努めています。風邪の飲み薬などには対応していませんが、病院で処方された塗り薬などについては、医師の指示書などに基づいてお預かりしています。 ●保健だよりなどを活用した情報提供で、保護者と連携して子どもの健康を守っています 子どもたちの健康の維持に向けて、「年間保健計画」に基づく健康状態の把握や保健指導を行っています。また、毎月1回の身体測定と年間2回ほど嘱託医による健康診断を実施しています。この測定や健診の結果については、毎月保護者に配信して共有しています。家庭での体調の様子などについては、連絡帳アプリなどで共有して保育にあたっています。毎月1回発行している保健だよりには、感染症に対する対策の仕方や咳エチケット、生活リズムの見直しや嘱託医からのコメント、防災に関することなど、家庭生活でも有益な健康情報などを掲載しています。			

8	評価項目 8		評点
	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目 8 の講評		評価項目 8 の講評を入力してください	
●親子遠足や懇談会で、保護者同士が交流できるようにしています 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、保護者が参加する行事などが実施できない時期もありましたが、今年度は感染対策を行いながら、行事や保護者懇談会、個人面談などを実施することができました。親子遠足では、一緒にお弁当を食べながら交流したり、懇談会ではクラスごとに時間を分けて、日常の子どもたちの様子をビデオで見ながら交流できるようにしています。今後は双方向の連絡帳アプリなどを活用して、保護者同士がお互いに聞いてみたい子育ての困りごとなどのアンケートを行うなど、会う機会が少なくても交流できる方法の検討も望まれます。 ●日々の様子や活動内容を細かく伝えて、保護者との信頼関係を作れるようにしています 保護者と園との日々の連絡については、アプリを使用した連絡帳を活用しています。体温や食事、排泄などの生活の様子に加えて、遊びの様子や新しく覚えたこと、挑戦していることなどを園と保護者の双方から伝え合い成長の喜びを共有しています。送迎の際にはできり限り担任が入口に出て、子どもたちのことだけでなく、保護者の仕事や体調などを気遣う言葉がけなども行いながら、信頼関係を作れるようにしています。何かあったらいつでも声をかけて良いことを伝えて、心配事や困りごとがある様子の時などには、個別面談を行えるようにしています。 ●外部講師を招いた保護者向け学習会を、年間4回開催しています 毎月1回園だよりを発行して、散歩や水遊びなど園での子どもたちの様子を伝えています。またハロウィンや節分など、保護者が参加しない行事の様子などは、ブログやビデオで様子が見られるようにしています。法人が中心となり、脳科学者等の外部講師を招いた保護者向けのオンライン学習会を年に4回開催しています。本園でもチラシなどを作成して保護者に周知を図り、学習の機会を提供しています。今後は利用者アンケートなどで寄せられた保護者からの意見や要望に対して、園としてどのように改善策などを共有していくことも求められます。			

9	評価項目 9		評点
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている ()		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評		評価項目 9 の講評を入力してください	
●近隣の児童館や商店街への散歩などで、地域の方々との交流を楽しんでいます 天気の良い日は毎日散歩に出かけて、近隣の公園で遊んでいます。近くには児童館も2か所あり、月曜日と金曜日以外はいつでも遊びに行くことが可能です。また0歳児は地域の子育てサロンなどに遊びに行く日もあります。近隣の商店街にある八百屋さんや豆腐屋さんなどのお店が、子どもたちが散歩で通ると温かく受け入れてくれて、挨拶を交わすなどの交流を楽しんでいます。コロナ禍で実現できてはいませんが、園長会議などで交流のある近隣の園庭がある保育園とは園だよりなどを交換していて、子どもたちが遊びに行く計画を立てていました。 ●ボランティアへのお礼の手紙づくりを通して、心の交流をしています 毎月1回赤ちゃん体操を実施していて、子どもたちは外部講師との交流を楽しんでいます。地域で手作りおもちゃを制作している方が、園の子どもたちに手作りの指輪をプレゼントしてくれたことへのお礼として、2歳児が自分たちの手形で花のブーケを制作して届けるなど、コロナ禍で直接会うことはできないけれども、心の交流を図っています。近年は企業などが子ども向けの交通安全や食育、SDG'sに関する講習会などを実施しています。子どもたちが職員以外の多様な大人と交流できるように、法人全体として計画的な地域交流の取り組みも期待します。			

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	季節に応じたオーナメントを毎月作成し、季節感を味わえる表現活動をしています	
内容①	園を訪問した際に目を引いたのは、子どもたちのカラフルな手形で描いた大きな虹と天井からつるされたたくさんのオーナメントでした。オーナメントには1つに一人、子どもたちの顔写真もありました。このオーナメントは、その月の行事や季節にちなんだものを題材にして毎月作成されています。家庭に持ち帰った際にも、親子で一緒に季節の移り変わりなどが楽しめる制作物となっています。近年、キャラクターなどによる一貫性のない装飾を取りやめる園も多くなっています。今後も子どもたちの様々な表現活動の成果としての作品展示に期待します。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル②	外部講師による赤ちゃん体操を取り入れて、子どもたちの身体づくりに取り組んでいます	
内容②	本園を運営する法人全体として、脳科学に基づく体操指導などを保育に取り入れた発達支援を行っています。本園でも同法人内の体操指導の資格を持つ講師が毎月来園して、「赤ちゃん体操」を実施しています。子どもたちに対する体操の指導の他に、マッサージの仕方を職員に教えてくれるなど、職員の技術向上にも寄与しています。赤ちゃんマッサージは保護者会で保護者にもやり方を教えています。毎日の散歩や運動遊び、手洗い、うがいの指導などによる感染症予防対策などを実施しながら、子どもたちの健康の基本である身体づくりに取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル③	職員間の親睦会を定期的に開催することで、チームワーク力も高まっています	
内容③	小規模な園のメリットの一つでもある職員間の意思疎通は非常に良いものと思われます。園長が保育に関すること、業務に関することはどんな些細なことでも、職員から必ず意見を聞き取り、尊重するといった取り組みが重ねられています。何よりも職員からの提案を大切に、保育や業務に反映させていこうと取り組んでいることが非常に評価できます。また、業務が終了すると園長が主体となり、親睦を深めるためのお茶会を月に1度開いています。互いに分かち合える場を設けることで、進行も深まり、チームワークの深化につながるものと思われます。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園では開かれた保育園を目指し、地域との関わりを大切にした運営が行われています
	内容	園では開かれた保育園を目指し、地域との関わりを積極的に持つよう努めています。具体的には、近隣の児童館で積み木遊びを行ったり、図書館で絵本を読んだりと地域の社会的資源の活用を行なっています。公園の散歩では地域の方々から優しいお声がけを頂くほか、家庭内保育の親子とごっこ遊びを行うなど、地域の方々との関わりを通じて学びを深めています。また、地域のネットワークづくりとして近隣保育園（連携園）との園だよりや保健だよりの交換や他園の校庭開放を活用した園児の交流など、地域との関わりを大切にした運営が行われています。
2	タイトル	限られた室内空間を工夫して、子どもたちが主体的に遊べる環境を作り出しています
	内容	0歳から2歳までの地域型保育園では室内空間が限られた施設が多く、概ね0歳児室と1、2歳児室というように大きく2部屋に分けている施設を多く見かけます。ところが本園では、室内空間が大きく3つに分けられていました。0歳児室はさらに可動式の柵で2つに分け、遊びと食事のスペースを分けて使用しています。1歳児と2歳児は食事や遊び、午睡などを一緒に過ごすことが多いようですが、食事の部屋と午睡の部屋、または机上で遊ぶ部屋と身体を動かす部屋などに分けて使うことができ、子どもたちは自分で過ごす部屋を選べるようにしています。
3	タイトル	トップダウンではないボトムアップの気運が高まるよう取り組んでいます
	内容	保育の年間計画は、法人内の他の園では園長が立案をして職員から意見を聴取していますが、当園では園長と担任が話し合いを重ね立案しています。他にも決め事がある場合には、園長から投げかけをするのではなく、まずは職員から意見を聞くという姿勢を貫かれています。園長は給食や午睡の時間以外はあまり現場に出ることなく、職員に任せて、管理業務に徹しています。トップダウンであれこれ指導するのではなくボトムアップの気運が高まるよう取り組むことで、職員一人ひとりの考える力が向上していくものと思われます。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人と連携した事業継続計画の整備が求められます
	内容	園では、非常災害対策計画や災害時マニュアルを策定し、地震・水害・火災等に対する対策が行われています。特に園のあるエリアは水害が想定されることから水害に対する避難訓練を定期的を実施しています。しかし、災害や感染症に対する事業継続計画が未整備であることから、法人が主体となり策定作業が進められています。今後は、法人が策定した事業継続計画に基づき、当園の地域性や運営状況に合わせた事業継続計画を策定し、訓練を実施するなど、園児や保護者が安心して利用することができる環境の整備が求められます。
2	タイトル	職員間の申し送りの漏れが散見されるため、原因を分析し対策の取り組みが求められます
	内容	園長はコミュニケーションの活性化を図るために会議体を通じて、職員の意見を吸い上げ、情報の共有化を図っています。職員とは個別面談を重ね希望や意向を確認するなど、職員のモチベーションの向上を図り人事の最適化に努めています。また、保育においても職員会議を通じて業務の改善や標準化に取り組んでいるものの、日々の業務において申し送りの漏れが散見されることから、原因を分析し、対策の立案が求められます。グループウェアなど情報システムを活用した取り組みやマニュアルの見直しが求められます
3	タイトル	せっきかくのマニュアルをより一層わかりやすくするための、見せ方の工夫が期待されます
	内容	園では、法人のマニュアルや区のガイドラインを踏襲した、園独自のマニュアルを作成しています。一日の業務の流れから、職員のマナー、ケガや具合が悪くなった時の対応、苦情への対応など事例なども交えながら、様々な事態を想定してそれに対応できるよう、非常に丁寧に作り込まれています。しかし、残念なことにほとんどが文章で説明がされているため、読み込まなければ理解できない箇所もあります。内容が非常に作り込まれていますので、写真や図、フローなど視覚的に見やすい工夫をすることで、より一層理解しやすくなるものと思われます。

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)子どもの最善の利益を追求します。 2)子どもの健やかな成長を願い、一人ひとりの健康維持を把握し、きめ細やかに対応します。 3)子どもが本来持っている「自らの伸びようとする力」を信頼し意欲を育てます。 4)心と体の栄養になるよう、安全でおいしい手作りの給食を作ります。 5)保護者とともに子どもの成長や発達を喜び、協力して子育てを支え、その援助にあたるようにします。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	自ら進んで研修に参加し、自身を向上していく。一人ひとりがみんなを引っ張って行く気持ちを持ち、自分の与えられた役割を担ってほしい。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	ケガをさせないのはもちろんのこと、子ども一人ひとりとしっかりと向き合い、子どもが何をしたいのか、何が欲しいのかを察知してほしい。